

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社
2019年10月10日

北九州市いち押しエコプレミアムに「ペアマルチ EA®・SE®」が選定

日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹、以下 NSG）は、北九州市が選定する環境配慮推奨製品「北九州エコプレミアム」制度^{*1}において、当社グループ会社の西日本板硝子センター株式会社（北九州市）が生産する複層ガラス製品「ペアマルチ EA®・ペアマルチ SE®」^{*2}が、「いち押しエコプレミアム」製品として選定されたことをお知らせいたします。2019年10月9日(水)に、同市で開催されている、西日本最大級の地球環境・エネルギー先端技術の展示会「エコテクノ 2019」にて選定書贈呈式及び発表会が行われました。

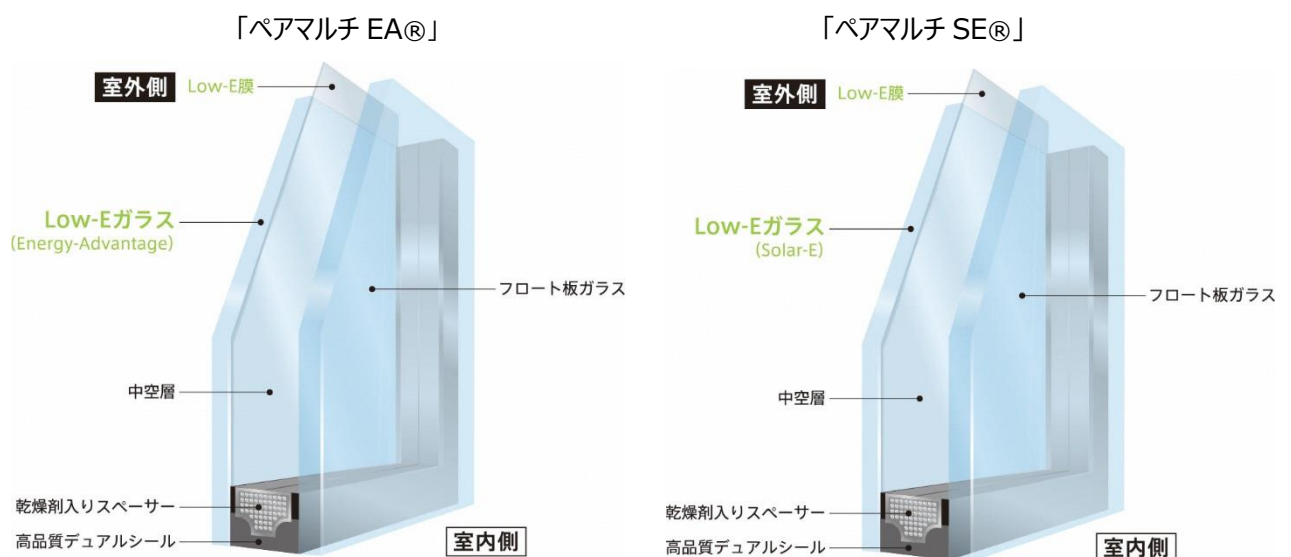
当社はガラス技術のイノベーションによる製品の提供を通じて、ビルや住宅の省エネに貢献してまいります。

*1 環境配慮推奨製品「北九州エコプレミアム」制度

北九州市が運営する制度で、市内で生産されている環境配慮型製品や環境負荷低減に寄与するサービスを「北九州エコプレミアム」として選定し、広く PR することにより、認知度の向上と販売拡大を支援する制度です。

*2 「ペアマルチ EA®・ペアマルチ SE®」

当社独自のオンラインコーティング CVD 法^{*3}で生産された On-line Low-E を使用した複層ガラスで、優れた断熱性能、日射遮熱性能を兼ね備えているため、ビルや住宅の暖冷房負荷を軽減することで、省エネに貢献します。



U 値 1.9W/ (㎡ K)、η 値 0.67

U 値 1.9W/ (㎡ K)、η 値 0.47

(U 値：熱貫流率。熱の逃げる量。η 値：日射熱取得率。日射エネルギーを 1.0 とした時に室内に入る率)

*3 オンラインコーティング CVD 法

CVD：化学気相成長（Chemical Vapor Deposition）技術を用いた Low-E 膜(低放射膜)を成膜する手法のひとつ。フロート板ガラスを生産する過程で、フロート板ガラスの高い温度を利用することにより、耐久性の優れた Low-E 膜を成膜することができる。

日本板硝子株式会社（NSG グループ） は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918 年に創業し、グループ従業員数は約 27,000 人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100 カ国以上で製品の販売を行っています。 <http://www.nsg.co.jp>